

# 看護衣の被服構成学的研究（第3報）

——色物看護衣の試用調査——

高 橋 房 子  
小 松 栄

## 緒 言

私が看護衣の研究を始めた1956年当初から期待していた淡い色物が、アイレストホワイトとして6色登場してきた。

これは、新しい白であり医学的には大島<sup>1)</sup>氏らにより、従来の白よりも眼が疲れないと発表されている。

表1 試作した看護衣のカラーについて

| アンケートの整理記号 | カ ラ ー 名   | カラー番 号 | 色相系統  | マンセル 記 号      |                                   |
|------------|-----------|--------|-------|---------------|-----------------------------------|
| A          | ビンキーホワイト  | 01     | 赤 系 統 | 10 RP 9.3/0.5 | アイ<br>レス<br>ト<br>ホ<br>ワ<br>イ<br>ト |
| B          | アイボリーホワイト | 02     | 黄 //  | 10 Y 9.3/0.2  |                                   |
| C          | ビスタチオホワイト | 03     | 緑 //  | 5 BG 9.3/0.5  |                                   |
| D          | クールホワイト   | 04     | 青 //  | 10 B 9.3/0.5  |                                   |
| E          | ライラックホワイト | 05     | 紫 //  | 7.5 P 9.3/0.5 |                                   |
| F          | パールホワイト   | 06     | 紫 青 系 | 10 PB 9.3/0.3 |                                   |
| G          | パールイエロー   | 8      | 黄 系 統 | 5.5 Y 9.0/1.5 |                                   |
| H          | パールスカイ    | 18     | 青 //  | 3.0 PB 8.0/2  |                                   |

A～Fは、日本ユニホームセンター発行アイレストホワイトについてによる。

病院の構造、色彩などについては、心理学的な見地から患者に好影響を与えるよう工夫されている<sup>2)</sup>。現今、看護衣についても色彩面で色物の使用は検討されてよい問題であると考えられる。こうした色物の布地は見本で見るのと、仕立てられたものとして見るのとでは受ける印象がかなり異なるものである。

そこで第2報<sup>2)</sup>に述べたように、看護婦の仕事による動きに対する機能的 Design を考えると同時にこの色物を使用して試作品を縫製したので実際に病院内において着用してもらいどの

ような印象をもたれるかをアンケートにより調査してみた。すなわち、看護衣について一般的な意見を聞くと共に特に色物看護衣について入院患者の立場からどのように感じられるか、着用する側の看護婦自身にはどのように感じられるかを、現在の看護衣つまり従来の白衣と比較調査してみたのでそれらの結果を報告する。

## I 調査対象

広島市内の総合病院3カ所（N病院424ベット、K病院415ベット、S病院480ベット）。アン

表2 調査対象の内容

| 患 者    |     | 看 護 婦  |       |
|--------|-----|--------|-------|
| 男      | 女   | 看 護 婦  | 看護学院生 |
| 45名    | 69名 | 182名   | 62名   |
| 計 114名 |     | 計 244名 |       |

|              |           |
|--------------|-----------|
| 年齢 16才 ~ 76才 | 18才 ~ 50才 |
|--------------|-----------|

ケート調査の対象は、入院患者114名（男45名女69名）看護婦および看護学院生244名である。

夏期調査として暑い日を目標にしていたが病院側の都合もあり9月上旬までかかった。

## Ⅱ 調査方法

予算の関係で表1の如き8色で一着宛試作しこれを着用してもらい供覧に呈し、その感想をアンケートに記入してもらった。

入院患者に対しては、病棟の看護婦に着衣してもらいその勤務状態をみてアンケートに答えてもらったもの。各病棟から患者の代表者がだされ1カ所に集まり8名の看護学院生に着用させた状態をみてアンケートに答えられたところ。希望者だけの少数だったもの。と具体的にはそれぞれの病院の配慮、事情などにより多少異なっている。

看護婦の場合も勤務中のため見ることも書くことも困難であったものも多かった。

アンケートの回収率は患者76%、看護婦81%であった。

## Ⅲ アンケートの内容

### 〔1〕患者に対して

看護衣に関するアンケート

月 日 天気 室内温度

( ) 科 入院年月日 ( )

性別(男・女)( 才)

(丸印をして下さい)

職業(事務員 公務員 学務員 教師 学生)

その他 ( )

学歴(小卒 中卒 高卒 短大卒 大卒)

その他 ( )

住所(広島市内 郡部 呉市 他県)

Ⅰ 貴女は現在の白の看護衣をどんなに思われますか。(丸印をして下さい。)

1. したしみ易い。
2. 冷たい。
3. 清楚でよい。
4. したしみにくい。
5. その他 ( )

Ⅱ 白衣に対して貴女が一番いいなあとと思われる時は、いつですか。

1. 朝
2. 昼
3. 夜
4. 治療のとき
5. 手術のとき
6. ない

Ⅲ この色物の看護衣のA, B, C, D, E, Fは、新しく、アイレストホワイトと呼ばれる白の仲間なのです。他の二着は、昔からの卵色と灰色です。( )に書き入れて下さい

① 貴女が看護衣として最もよいと思われる色の一つを符号で書き入れて下さい。

( )

② よいと思われる順に上げて下さい。

1. ( )
2. ( )
3. ( )
4. ( )
5. ( )
6. ( )
7. ( )
8. ( )

③ なぜよいと思いますか。

1. したしみ易い
2. やすらぎを感じる
3. 見てたのしい
4. きれいにみえる
5. その他 ( )

Ⅳ 各科別に分けるとしてお考え下さい。よいと思われる色の符号を( )の中に書いて下さい。

|      |       |     |     |
|------|-------|-----|-----|
| 科 内科 | 小児科   | 外科  | 精神科 |
| ( )  | ( )   | ( ) | ( ) |
| 婦人科  | 耳鼻咽喉科 | 皮膚科 | 眼科  |
| ( )  | ( )   | ( ) | ( ) |

|             |               |             |            |               |
|-------------|---------------|-------------|------------|---------------|
| 色 A         | B             | C           | D          | E             |
| ピンク<br>ホワイト | アイボリー<br>ホワイト | ビスタ<br>ホワイト | ター<br>ホワイト | ライラック<br>ホワイト |
| F           | G             | H           |            |               |
| パール<br>ホワイト | ベール<br>イエロー   | ベール<br>スカイ  |            |               |

Ⅴ 以上の色を見て今までの白をどう思われますか。

1. 平凡
2. 清潔でよい
3. さみしい
4. まぶしい
5. 白より色がよい。

〔2〕看護婦に対して

(1) 現在の看護衣に関するアンケート

( ) 科 (年令 才)  
問に対し解答は○印をして下さい。( )には書き入れて下さい。

I 貴女は、現在の白の看護衣をどんなに思っていますか。

1. したしみ易くてよい。
2. 冷たい感じ。
3. したしみにくいと思う。
4. 清楚でよい
5. 何となく着ている。
6. その他 ( )

II 白衣に対して何か抵抗を感じますか。

( )

III 現在の布地がよいと思われますか。それは何故ですか。

よい 洗濯に耐える 糊つけがきく その他  
わるい しわになり易い その他

IV 現在の看護衣のデザインについて感じられる点は。

1. 大変よい。
2. このくらいがよい。
3. 古くさい。
4. 何とも感じない。
5. その他 ( )

V 現在の看護衣のよいと思われる点について

1. 衿の型
2. 裾巾
3. 袖丈
4. 着丈
5. 身巾
6. 袖の具合
7. あきの位置
8. その他 ( )

不便に感じている点について。

1. 衿の型
2. 裾巾
3. 袖丈
4. 着丈
5. 身巾
6. 袖の具合
7. あきの位置
8. その他 ( )

VI その他ご意見があればお書き下さい。

(2) 色物看護衣に関するアンケート

I この色物の看護衣のA, B, C, D, E, Fは新しく、アイレストホワイトと呼ばれる白の仲間なのです。他の二着は、昔からの卵色と灰色です。

次の問に対し ( ) の中に書き入れて下さい。

① 貴女が看護衣として最もよいと思われる色の一つを符号で書いて下さい。

( )

② よいと思われる順に上げて下さい。

1. ( )
2. ( )
3. ( )
4. ( )
5. ( )
6. ( )
7. ( )
8. ( )

③ なぜよいと思いますか。

1. したしみ易い。
2. やすらぎを感じる
3. 見てたのしい。
4. きれいにみえる。
5. その他 ( )

II 各科別に色分けするとしてお考え下さい。

よいと思われる色と科を線でつないで下さい。

|       |               |
|-------|---------------|
| 内 科   | A (ピンキーホワイト)  |
| 小 児 科 | B (アイボリーホワイト) |
| 外 科   | C (ピスタチオホワイト) |
| 精 神 科 | D (クールホワイト)   |
| 婦 人 科 | E (ライラックホワイト) |
| 耳鼻咽喉科 | F (パールホワイト)   |
| 眼 科   | G (ペールイエロー)   |
| 皮 膚 科 | H (ペールスカイ)    |

III 病院内一色にするのと各科別とでは、どちらがよいと思いますか。

1. 院内一色
2. 各科別色分け

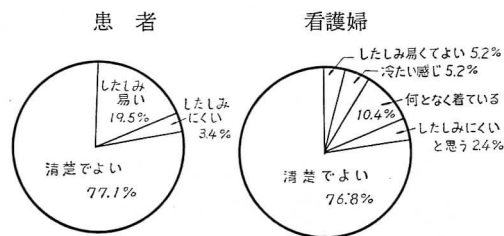
IV 貴女の着て見たい色はどれですか。

( )

お忙しい中をご協力ありがとうございました。

## アンケートによる結果

図1 貴女は、現在の白の看護衣をどんなに思われますか。

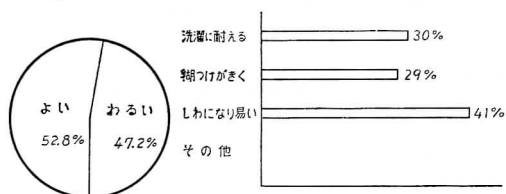


## Ⅳ 結果および考察

アンケートに答えてくれたものは、患者16才から76才の男女で、看護婦は18才から50才であった。

先ず現在の白の看護衣に対する答からひろってみると図1のように、清楚でよいが患者77.1% 看護婦76.8%と言う大多数である。患者の19.5%はしたしみ易いと答えているが、これは看護婦は白衣をまとっているものと云う社会的な通念からかと考えられる。しかし看護婦ではこの項は5.2%であった。長年見慣れた白衣は患者の眼には清楚そのもので且つ親しみ易いものと映っているようである。小児には白衣は医師、看護婦など医療を行なう者の象徴として怖れられる色となっているが今回の調査では除外することとした。

図2 現在の布地がよいと思えますか。それは、何故ですか。



次に布地については永い歴史をもった看護衣が色々な布地が出回っているにもかかわらず依然として木綿を用いられているので、現在の布地がよいと思われるか、それは何故かについての間に対しては、図2のようによいと答えているのが52.8%、わるいが47.2%である。わるい点は、しわになり易いのと糊つけのため夏は暑いと言うことである。また糊つけなどの手間はぶけるものがよいと希望されている。

図3 現在の看護衣

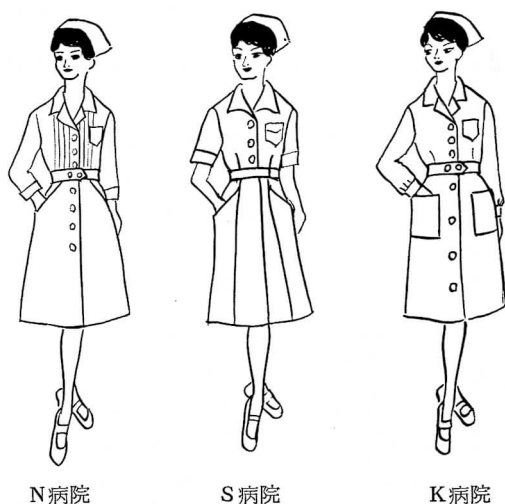


図3は、アンケートにご協力戴いた病院の看護衣である。その現在の看護衣に対して感じられる点の答は、図4のように、このくらいがよい48.7%で約半数、古くさい26.4%で約1/4、何となく着ているので何とも感じないのが14.2%、白衣の天使のプライドをもって大変よい10.7%であった。

図4 現在の看護衣に対して感じられる点は

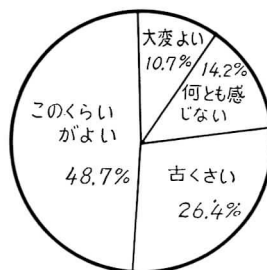
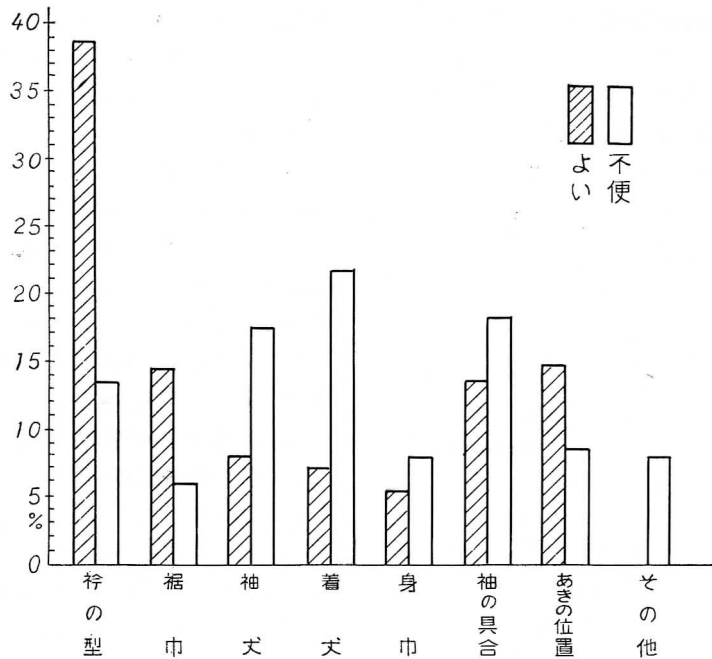


図5 現在の看護衣のよいと思われる点と不便に感じている点について

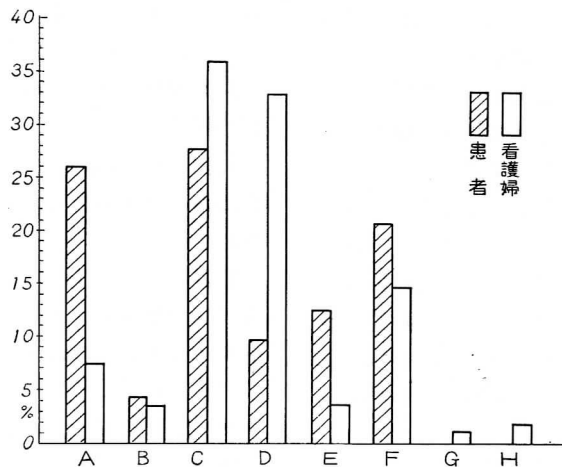


次に被服構成上現在の看護衣のよいと思われる点と、不便に感じている点については、図5に示すように不便に感じている点では、袖丈、着丈、身巾、袖の具合のようである。袖丈は長袖のところ七分袖を望んでいる。着丈は長すぎるのでなかには、裾を折り曲げてから着用するものが多いようである。

その他として背丈が短かすぎるものも多いようであった。身巾、袖ぐりなども大、中、小のものを身につけるので、ぴったり合わないのが多いようである。

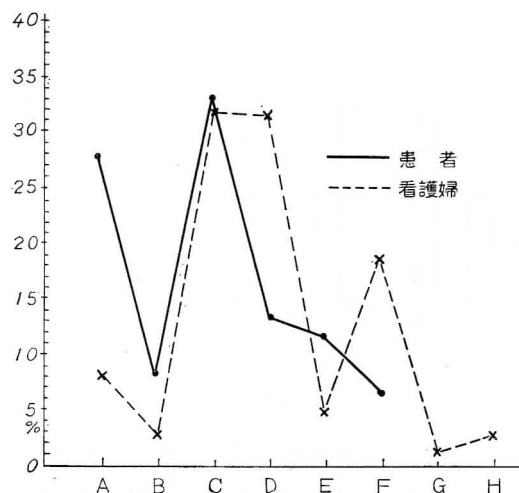
よい点では衿型は今までに幾度も考案されたらしく、それだけに各病院共、特色もありよい型のものが多かった。

図6 貴女が看護衣として最もよいと思われる色の一つを符号で書いて下さい。



さて、主目的である色物調査として先ずアイレストホワイトの布地を用いて試作した同じDesignでの8色の看護衣をみて、看護衣として最もよいと思われる色の一つを符号で書いてもらったが、図6のように患者側ではC, A, Fの順で看護婦側ではC, D, Fであった。

図7 よいと思われる順にあげて下さい。(1位にあげられたものの集計)



さらに、よいと思われる順に上げてもらった結果も、1位に挙げられたものは図7に示した通りで、患者側ではC, A, D, 看護婦側ではC, D, Fの順であり前者と先ず一致している。

すなわち、患者側にも看護婦側にもC(ビスタチオホワイト)が一番好意がもたれているが、これは暖味のある緑系統のものでさわやかな、安らぎの感じを与える色である。次に患者側に支持されているのはA(ピンキーホワイト)でこれも暖味のある柔らかな親しみのもてる色である。看護婦側に次に支持させたのがD(クールホワイト)であるが、これは青系統に属するものでも冷めたい色ではなく、むしろ清楚さを強調するが如き色である。この色は患者側にもよい順の3位に挙げられている。看護婦側にも患者側にもこれらの色について支持されているのがF(パールホワイト)であるが、これは紫青系統のものであるけれども暖味を失わず気持を柔らげる効果のある色である。

すなわち、両者共に安らぎの与えられる柔

らかな親しみのもてる中にも、清楚感を失わない色調が支持されているようであり、特に患者側では暖味を求め、看護婦側では清楚さを求めているものの如く考えられる結果であった。

この色物の看護衣をみてなぜよいと思うかについては、患者の眼には、きれいにみえる42.5%, 安らぎを感じる36.8%, 看護婦は、安らぎを感じる45.9%, きれいにみえる31.1%で図8の通りであるが、きれいにみえるという質問は漠然としているがいろいろの意味で好感が与えられているものと解すると前述したところを裏書をするものと言えよう。

次にこれは少々無理な質問であったかも知れないが院内各科勤務の看護婦の看護衣として望ましいと考えられる色を参考までに挙げてもらった。各科に対する認識理解の程度は千差万別であり、特に患者側には漠然とした通念的なものしかないものと考えられるが、この結果を示すと図9の如くであり、それぞれ1位のものをひろってみると内科では患者C26.4%, 看護婦C25.9%と何れもC(ビスタチオホワイト)である。

小児科では患者G(ペールイエロー)33.3% 看護婦A(ピンキーホワイト)55.1%である。外科をみると患者A(ピンキーホワイト), F(パールホワイト)共に19.0%で看護婦D(クールホワイト)26.1%である。

精神科は患者20.0%, 看護婦30.9%のH(ペールスカイ)で一致している。

次に婦人科をみると患者A(ピンキーホワイト)27.9%, 看護婦C(ビスタチオホワイト)17.9%である。

耳鼻咽喉科は、患者A(ピンキーホワイト)23.9%, 看護婦E(ライラックホワイト)18.7%となっている。

患者の眼にはAがよいようで皮膚科をみてもA(ピンキーホワイト)17.4%, 看護婦H(ペールスカイ)19.7%となっている。

最後に眼科に対しては、患者E(ライラックホワイト)20.0%, 看護婦F(パールホワイト)18.8%となっている。

図8 なぜよいと思いますか。

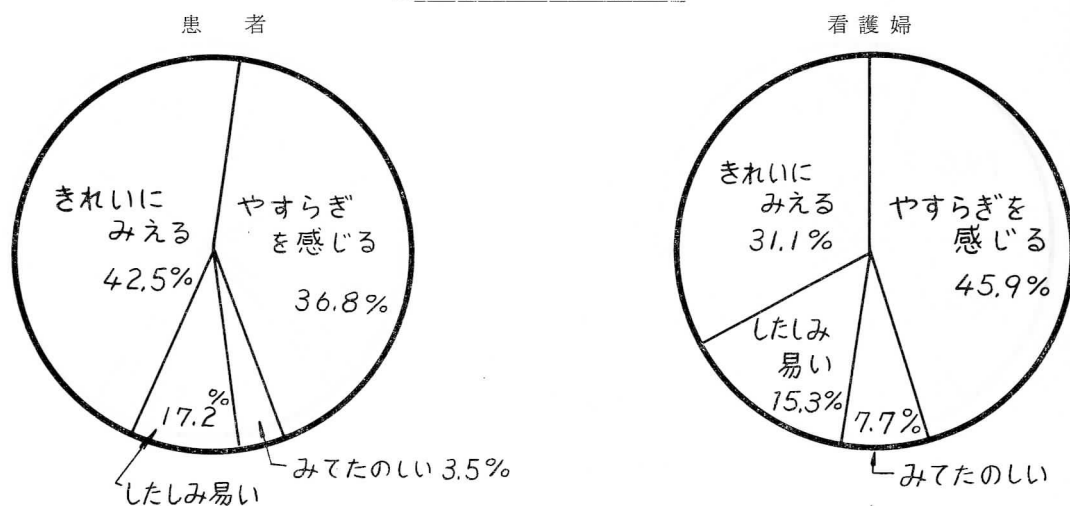
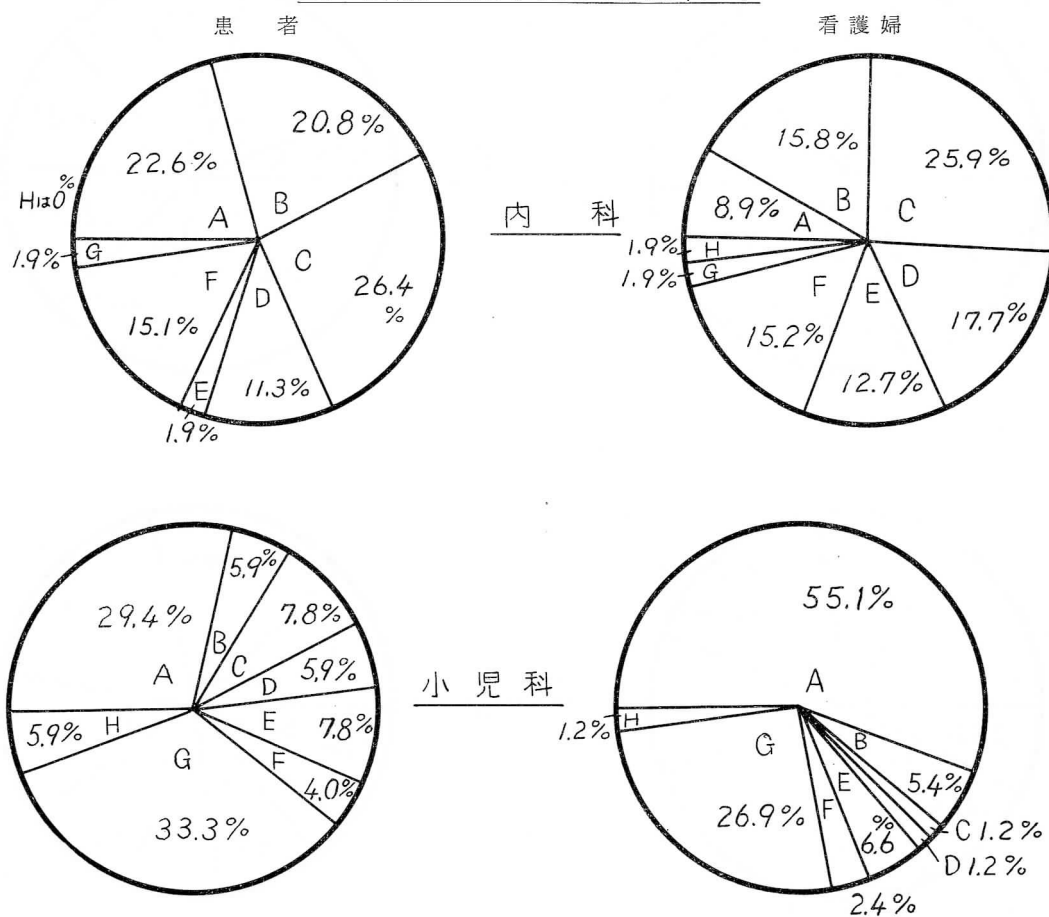
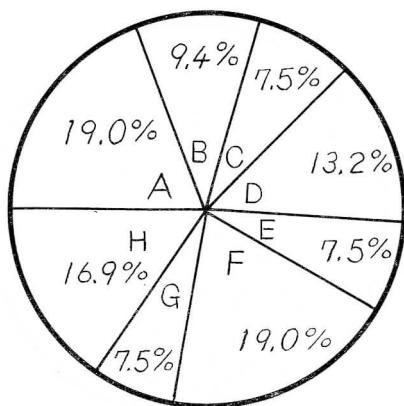


図9 各科別に色分けするとしてお考え下さい。

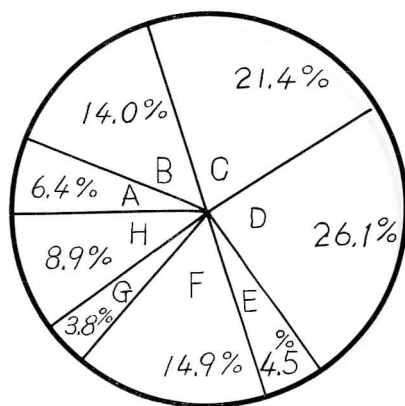


患 者

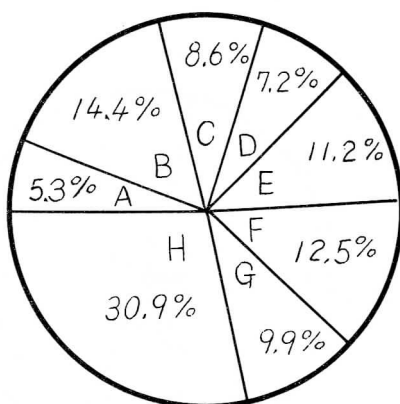
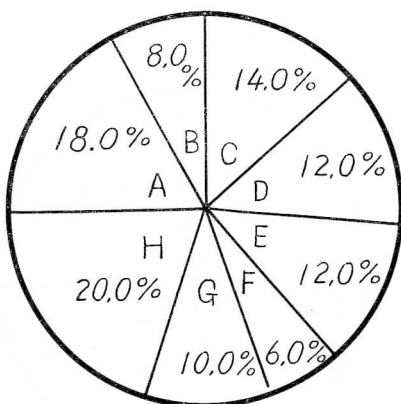


外 科

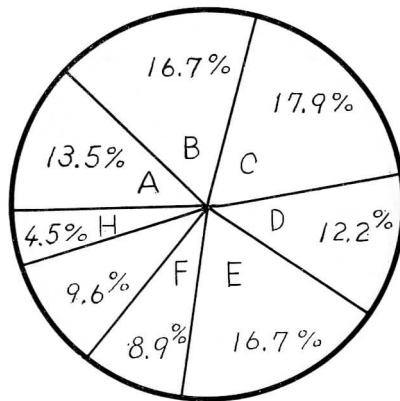
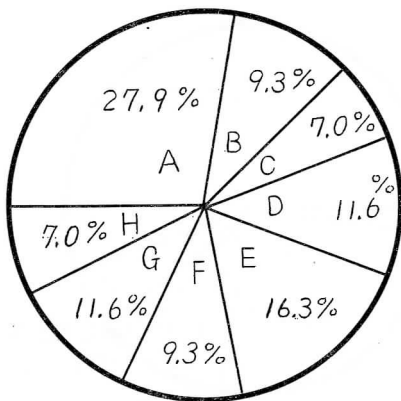
看 護 婦



精 神 科

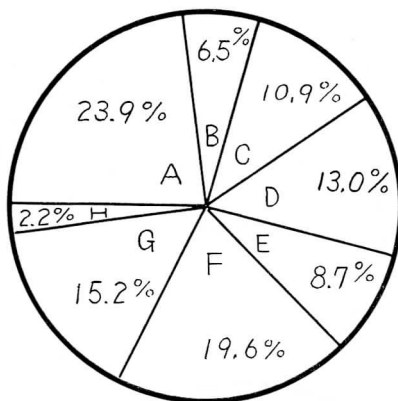


婦 人 科

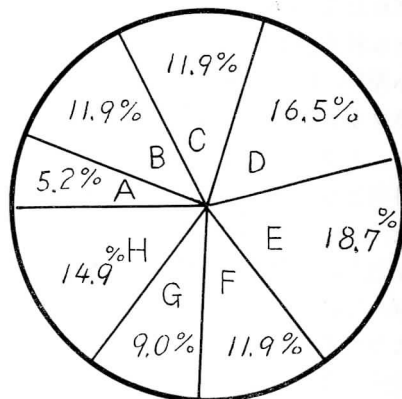




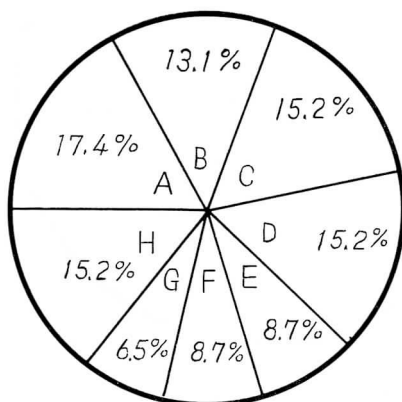
患者



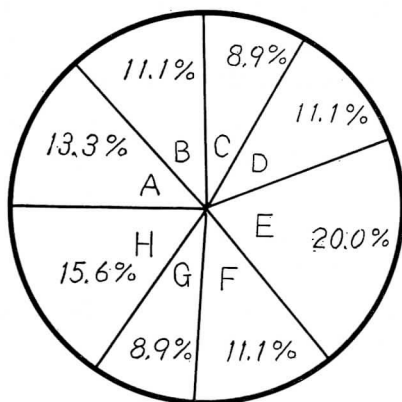
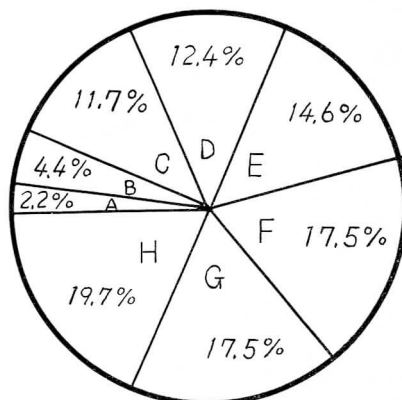
看護婦



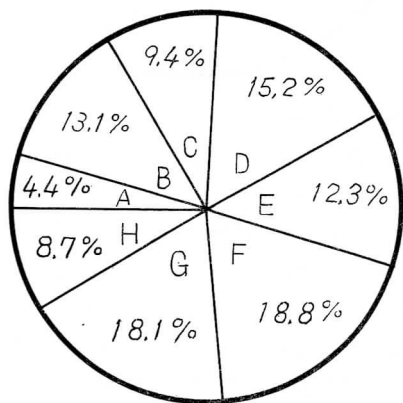
耳鼻咽喉科



皮膚科



眼科



内科に両者からC（ビスタチオホワイト）が選ばれたことは、非常にさわやかな、安らぎの与えられる色だからだと思う。

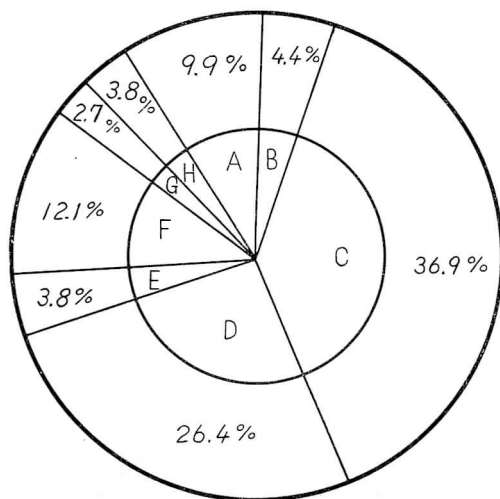
小児科のG（パールイエロー）とA（ピンキーホワイト）はどちらも幼児の好みそうな色として、ふさわしいように思える。

外科としては、患者側からは優しい暖味のある女性らしい色を、看護婦の立場からいえば清楚な色を、また精神科には双方とも落ち着いた色を選んでおり一応興味ある結果が示めされているようである。

院内一色がよいか、各科別がよいかと言うことも問題であるが、看護婦の立場からは勤務交替のある病院では各科別は実際上不可能であり院内一色が無難のようである。別に小児科だけでも色をかえたらと言う意見もあった。

看護婦に対して

図10 貴女の着て見たい色はどれですか。



看護婦自身の着てみたい色は、最もよいと思う色、あるいは、よい順にあげられたC, D, Fである。（図10）

着用するもの自身としてCは非常にさわやかな感じで、Dは今までの白に蛍光染料を入れた感じで清楚さを強調する色調、Fは白と間違えられるくらい薄い柔らかい紫青色で、次にあげられたAは、柔らかいピンクで、着用すると余りピンクを感じさせない点から若い方より

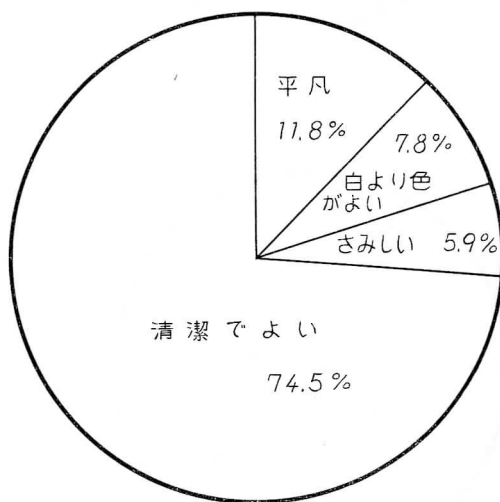
も30代の方に好まれたようである。

ある病院では院長先生のご協力もあり近々色物看護衣が採用になるようである。

以上の色物看護衣をみて今までの白をどう思いますかに対して患者側からは図11の通りである。清潔でよい74.5%で、平凡、白より色がよい、さみしいなどと比べて¾を占めているが伝統的慣習的な要素の大きい看護衣の一端を物語るものといえよう。

患者に対して

図11 以上の色を見て今までの白をどう思いますか。



## V 総括

看護衣の機能的 Design を色物（アイレストホワイト）を使用して試作し、広島市内の総合病院3カ所において実際に着用供覧してもらい色物についての印象を中心に患者ならびに看護婦、両者にアンケート調査を行なったが表1に示すA, C, D, Fにはかなりの好感がもたれ、なお伝統的な白衣に対する愛着は強いけれどもこの程度の色調のものであれば十分受け入れられるものの如く考えられた。

患者側には暖味のあり親しみのもてる色調が看護婦側には清楚さを強調するが如き色調が白を土台として好感のもたれる色調であった。

本研究においご助言くださいました本学の海見教授に感謝するとともに広島市内の S, N, K 病院の患者ならびに看護婦に対する調査に当りご協力をいただきました方々に深甚の謝意を表します。

また本学学生ならびに K 嬢の大いなるご協力に感謝します。

## 参 考 文 献

- |            |                      |                   |             |
|------------|----------------------|-------------------|-------------|
| 1) 大 島 正 光 | アイレストホワイトは疲れない       | 財団法人, 日本ユニホームセンター |             |
| 2) 高 橋 房 子 | 看護衣の被服構成学的研究 (第 1 報) | 本学紀要              | 1966. 12    |
|            | (第 2 報)              | 〃                 |             |
| 3) 山 崎 勝 弘 | 衣 服 の 色              | 光 生 館             | 1965. 3. 20 |
| 4) 西 川 好 夫 | 新・色彩の心理              | 法政大学出版局           | 1962. 6     |
| 5) 星 野 昌 一 | 色 彩 と 生 活            | 毎日新聞社             | 1958. 7. 25 |

## Clothing Design for Nurse Uniforms (Report 3)

(A trial research for colored uniforms)

Fusako Takahashi

It is reported that "eye-rest white" as it is called is a new whiteness that gives less fatigue to the eye.

Having taken into account the second research, 8 uniforms were made, six of which were made of 6 different shades of "eye-rest white", and 2 of which were made of usual light colored cloth. These 8 colored but similar designed uniforms were worn by the working nurses and an enquete was collected both from the patients and the nurses themselves in reference to their preference in color and the comparison with the ordinary white uniforms.

The result was that many people have much attachment to the usual white uniforms. The patients liked pistachio white (27.4%), pinky white (26.0%) and pearl white (20.6%), and the nurses preferred pistachio white (35.7%) and cool white (32.9%).